SIP維持管理技術へのアドバイスシート（フィールド試験時）

2017年1月16日

|  |
| --- |
| 研究開発の技術名称（研究責任者）**高速走行型非接触レーダーによるトンネル覆工の内部欠陥点検技術と統合型診断システムの開発：安田亨（パシフィックコンサルタンツ）** |

以下，参加者が各自の意見・アドバイスを記載する。

記入要領 □：選択してチェック

→：理由など記入

記入者の氏名（無記名も可）：

記名の方で，記入内容を確認させて頂く場合の連絡先等
E-mail：

岐阜大学SIP実装プロジェクトの説明会における参加者の立場

**□** ＭＡ（メンテナンスアドバイザー）：自由に意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

**□** オブザーバー：制約はあるが，意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

* 聴講者：意見を述べず，アドバイスシートにも記入しない。
1. フィールド試験に参加して，影響を受けたところ（番号に○印，複数可）

1. 実業務への適用範囲

2. 提案技術の利用についての実務面か

らの印象

3. 提案技術が優れていると思った項目

4. 提案技術への改良提案

5. 提案技術の別な用途での利用提案

6. 提案技術と他の新技術との組合せ提案

7. 提案技術に対する技術的発展の期待度

１．実業務への適用範囲

* + 提案されている技術のみで，実業務に適用できると思う。
	+ 既存技術の一部を補完する要素技術として適用できると思う。
	+ 他の要素技術や既存技術との組合せによって利用の可能性は広がると思う。
	+ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．提案技術の利用についての実務面からの印象

* 積極的に利用したいと思う。
* 発注者からの指示であれば利用する。
* 使えない（使いたくない）と思う。

【上記の選定理由】
→

３．提案技術が優れていると思った項目

既存技術に比べて，提案技術が優れていると思われる項目，機能等

→

４．提案技術への改良提案

岐阜県内での実装に際して，充実させて頂きたい項目，機能等

→

５．提案技術の別な用途での利用提案

開発意図とは異なる方面での利活用ができると思われる項目等

→

６．提案技術と他の新技術との組み合わせの提案

実装に際して他の技術と組み合わせると，更に使いたくなると思うこと等

→

７．提案技術に対する技術的発展の期待度

本技術提案は，インフラ維持管理・更新・マネジメント技術として，システム化されたインフラマネジメントを構築でき，インフラの事故を未然に防ぎ，維持管理やメンテナンスの負担軽減を図ることが期待できますか。

* 大いに期待できると思う。
* 改良等を行なえば期待できると思う。
* 本日の説明だけでは，期待できないと思う。

【上記の選定理由や改良提案など】
→

８．その他（自由な意見を記入してください）